

## 第26回一線美術会比企支部展

比企支部事務局 丸山幸男

- ・会期…平成30年5月22日(火)～27日(日)
- ・会場…東松山市立図書館展示室
- ・後援…東松山市教育委員会

平成30年5月22日(火)から27日(日)まで、第26回一線美術会比企支部展が埼玉県東松山市立図書館展示室で行われました。会場のスペースの関係で今回も1人4点まで。作品サイズはA～Dまでで、作品Aは130号～50号まで。作品Bは40号以下。作品Cは15号以下。作品Dは10号以下という出品規制の中で行われました。

出品会員数……………13名

出品点数……………47点

期間中来場者数…430名

今回は共通テーマとして『模写』に取り組むことにしました。模写はかつての大先輩諸氏が勉強のために取り組んだ壮大な試みであり、私たちにあって大きな経験でもありました。完全なる模写は支持体や絵の具の選定・制作手順・写真ではなく実物を見て等々を考えると躊躇する部分も多々ありました。でも、これを一つの機会ととらえ画集などの印刷写真を見ながら制作に取り組みました。模写の対象となった作家は、ルノアール・岸田劉生・ゴッホ・モネ・ピカソ・先輩会員紫藤卓重氏などでした。今後の私たちの制作活動に何らかのきっかけやプラスになればこの経験は生かされると思います。

会期中、橋本光理事長・高木八重子副理事長を始め多くの方々のご来場を頂き丁寧な御指導をいただきました。さらに中野中先生にはお忙しい中かけつけていただき、ありがとうございました。

上野での本展に向けて様々な思いが込められた支部展でした。一年間の私たちの個人としての制作活動の成果を一堂に集め、自らの制作姿勢を他の会員の作品と並べてみることによって、今後の新たな課題を発見するという貴重な機会としてとらえています。また、本展とは違い一人が4点展示することによる「個人」の作風の表出は、それぞれの制作方向の確認としても大変有効な時と場面だと思っています。

今後支部会員の増加につとめるとともに、今回の一歩を今後の有意義な制作活動の一歩とし支部員一同精進してゆきたいと思います。ありがとうございました。



## 平成30年度 比企支部活動報告 第2回「人物を描く会」

- ・実施日…平成30年6月24日(日)
- ・会場…東松山市市民活動センター
- ・参加者…支部会員5名・会員外参加者15名

比企支部で恒例となりました「人物を描く会」が今年2回目として右記のように行われました。モデルは前回と同じくKさん。一線比企の会に何回もモデルとしてお願いをしている方で、気心を知った和気あいあいとした雰囲気の中で制作することが出来ました。会員のリクエストで、ジーンズとノースリーブシャツ。夏の暑さや、じっとりとした空気を吹き飛ばすような軽快な服装のコスチュームでした。

この会は7年の歴史を持ち、会員の人物画制作の技術の向上を図ることを主眼としています。

今回支部会員以外の参加者が15名と大変多数の方の参加がありました。会員が一線美術会以外のそれぞれの場で真摯に制作活動・発表活動をしている中での結果だと思えます。さらに今回の会の終了時に数名の方から本比企支部への入会の希望があることをお聞きしました。大変喜ばしいことと思えます。

今後もこのような例会をとおして、支部会員の交流や制作についての情報交換等を行い、今後もより一層活動の充実に努めてまいりたいと思っています。

